

樹木生態学特論 —佐渡フィールドスタディ—

目的 さまざまなタイプの生態系に分布する植物の形態や生活史特性を比較し、その生活史戦略を学ぶ。また、植物写真家のいがりまさし氏の指導で植物写真や林相写真の撮影技術を学ぶ。各自の課題樹種の間接発表を行うので、Power Point で10分間で発表できるようにまとめておく。他大学の院生は自分の研究内容を紹介する。

日時 2017年7月11日（火）～7月14日（金）（3泊4日）

場所 フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション

Tel 0259-78-2613

携帯（崎尾）080-5065-0486

日程 7月11日（火） 9：25 新潟港
11：55 両津港（フェリーで昼食）
12：00 おけさ橋（土産物通りを突抜ける）を渡った駐車場に集合
食事はフェリーで済ませてください。すぐにフィールドに行きますので、山を歩ける身支度できてください。
13：00 フィールドスタディ1（妙見山ブナ林）
17：00 佐渡ステーション
18：00 夕食
19：00 講義：佐渡の自然（崎尾）
各自の課題樹木の間接発表、研究紹介（他大学）
12日（水） 7：30 朝食
8：30 フィールドスタディ2（演習林：大倉シラバ半自然草地）
12：00 昼食
13：00 フィールドスタディ3（演習林：スギ・ヒノキアスナロ天然林）
18：00 夕食
19：00 講義：植物生態写真の撮影方法（いがりまさし）
13日（木） 7：30 朝食
8：30 フィールドスタディ4（植物生態写真の撮影）
12：00 昼食
13：00 フィールドスタディ5（植物生態写真の撮影）
15：30 撮影写真の講評
18：00 夕食（バーベキュー）
14日（金） 7：30 朝食
8：30 フィールドスタディ4（常緑広葉樹林もしくはトキの森公園）
12：00 両津港
12：40 フェリー両津港発

15:10 フェリー新潟港着

日程は、天候等により変更があります。

持ち物：長袖、長ズボン、帽子、着替え、タオル、洗面用具、ザック、雨具、ルーペ、双眼鏡、フィールドノート、図鑑、デジタルカメラ等

発表データ：USBメモリーなどで持参

参加費 10000円（両津港までの交通費は各自負担）：食事、雑費、リネン、飲み物等。
食事は11日の夕食から14日の朝食まで含みます。

フィールドの概要

スギ天然林：冬季の積雪の影響で複雑な樹形

スギ・ヒバは枝による伏条更新。

サワグルミ・ホウノキ・ミズナラは主幹が直立できず、萌芽を繰り返し出す。

風衝地：冬季の北西の強風により樹形が低く扁形、矮小化。放牧は行われていない。

スギは樹高が低く、風上側の枝が枯れあがっている。

ハクサンシャクナゲ・ガクウラジロヨウラク・キツネヤナギは極端な低木化

草本も矮小化（オオイワカガミ）

溪畔林：10 数年前の土石流の跡地に形成された森林。オノエヤナギ・ケヤマハンノキを林冠木、サワグルミ・カツラが下層木。

その他

大倉シラバ：牛の放牧で草地、数年前に放牧を中止

林道沿い・ギャップ

タニウツギ・マタタビ・ヤマブドウ

海岸沿いの常緑広葉樹：タブノキ林

その他

シナノキ・トチノキ・オオバクロモジ・シウリザクラ・ウワミズザクラ・イヌザクラ
ミズナラ・ナナカマド

昨年までの実習の様子は下記のブログをご覧ください。

<http://sadoken.blogspot.jp>

指導教員 教授：崎尾 均、特任助手：菅 尚子、 特別講師 植物写真家：いがりまさし